

**令和2年度
宮城県地域年金展開事業
取り組み経過
(令和2年4月から令和2年12月まで)**



日本年金機構
Japan Pension Service

**仙台東年金事務所
(宮城県代表年金事務所)**

目 次

1	令和2年度における取組について	P . 2
2	地域連携事業	
	(1)事業の取組状況	P . 3 ~ P . 10
3	年金セミナー事業	
	(1)事業の取組状況	P . 11 ~ P . 18
4	地域相談事業	
	(1)事業の取組状況	P . 19
5	年金委員活動支援事業	
	(1)事業の取組状況	P . 20 ~ P . 23
6	「ねんきん月間」「年金の日」の取組	P . 24 ~ P . 29

1 令和2年度における取組について

- 今年度の地域年金展開事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業において中止または縮小を余儀なくされました。

その中で、実施可能な取り組みについては、マスクの着用や換気の徹底、ソーシャルディスタンスの確保等徹底した新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら行ってまいりました。

今後の取り組みにおいては、対面型から非対面型による取り組みへの移行を進め、オンラインを活用した年金セミナー等の取り組みを進めてまいります。

2 地域連携事業

(1) 事業の取組状況

自治体との連携

対象市町村から開催への理解を得られた年金事務所において、市町村職員を対象とした事務研修会等を開催しました。

また、市町村向け情報誌「かけはし」を隔月で発行し、制度周知及び情報共有を図りました。

関係団体等との研修会・説明会等の実施

関係団体からの要請により、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら研修会・説明会等へ講師の派遣を行いました。

社会保険協会発行による広報誌「社会保険みやぎ」により制度周知を図りました。

また、ハローワークへ国民年金関係資料の配付を依頼し、離職者に対する国民年金の加入、免除手続等の周知に努めました。

「わたしと年金」エッセイ及び「ねんきん月間」の取組

「わたしと年金」エッセイ募集及び11月の「ねんきん月間」の取り組みについて、報道機関へ記事掲載の協力要請を行いました。

○「わたしと年金」エッセイ応募状況

「わたしと 年金」 エッセイ 応募状況	一 般		学 生						合 計	
			中学生		高校生		大学生			
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
全 国	104件	54件	11件	8件	1,132件	877件	43件	3件	1,290件	942件
東 北	16件	12件	0件	0件	35件	10件	0件	1件	51件	23件
宮 城	2件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	2件	2件

大学生については、その他専門学校等を含みます。

○最優秀賞・厚生労働省東北厚生局長賞(各1点)

最優秀賞



仙台市立中田中学校
丹羽 景柊さん

『審査アドバイザーからのコメント』

美しい桜の下に集まる幸せそうな家族。入学式の日でしょうか。新しいランドセルを背負った娘を撮影する嬉しそうなお父さん。お母さんのお腹に宿る新しい命を見つめる女の子。未来に向かってずっと続いていくであろう幸せを美しく描き上げました。明るい未来への備えである国民年金の大切さを見事に表現した一枚です。

厚生労働省 東北厚生局長賞



宮城県古川黎明中学校
菅原 菜さん

『審査アドバイザーからのコメント』

豊かな老後を花咲か爺さんをモチーフに表現しているアイデアが秀逸です。満開の桜の木に座る爺さんはとても幸せそうです。優しい花咲か爺さんは、犬や他人を思いやる気持ちをもっていたため幸せになりました。年金も同じで、みんなで支え合うことで豊かな人生を送ることができるというメッセージが感じられるポスターです。

○優秀賞(3点)

優秀賞



東松島市立矢本第一中学校
菊池 妃珠さん

『審査アドバイザーからのコメント』
将来の為の年金を、植物を育てることに例えて表現しています。キラリと光るじょうろを持つ大人の手の下には、小さな子どもの手が添えられています。将来の為の年金は、世代と世代の支え合い、「世代間扶養」によって成り立っていることを表現した見事なアイデアです。

優秀賞



栗原市立金成中学校
千葉 颯太さん

『審査アドバイザーからのコメント』
自然の中で嬉しそうに微笑み、カメラを構える老夫婦。二人で旅行にでも来たのでしょうか。二人が過ごしてきたこれまでの人生やこれからの思いを、その眼差しと口元で見事に表現しています。老後の生活を保障する公的年金の大きな役割を、日常の一場面から表現した秀逸な作品です。

優秀賞



宮城県古川黎明中学校
松本 華澄さん

『審査アドバイザーからのコメント』
写真の中には家族の幸せな一場面が描かれています。写真を連続したフィルムにすることで、安心できる生活がこれからもずっと続いていくと感じられ、年金がその役割を担う制度であることを見事に表現しています。また、青空にかかる虹や美しい花々が、明るく希望に満ち溢れた未来を予感させる素敵なポスターです。

○入選(18点)



仙台市立仙台青陵中等教育学校
岡崎 倭文さん



仙台市立袋原中学校
大槻 竜雅さん



栗原市立金成中学校
二階堂 律希さん



仙台市立第一中学校
徳山 青葉さん



仙台市立袋原中学校
齊所 妃乃さん



登米市立新田中学校
三浦 優梨さん



仙台市立第一中学校
酒本 奈緒さん



栗原市立栗原南中学校
赤間 結愛さん



宮城県古川黎明中学校
阿部 理佳子さん

○入選(18点)



東松島市立鳴瀬未来中学校
相澤 瑞雪さん



学校法人 聖ドミニコ学院
聖ドミニコ学院中学校
山田 真歌さん



登米市立津山中学校
大森 奈々さん



学校法人 仙台育英学園
秀光中等教育学校
鈴木 新也さん



登米市立津山中学校
櫻田 彩さん



宮城県古川黎明中学校
浅野 日向子さん



登米市立登米中学校
木村 あずささん



登米市立登米中学校
山田 あいさん



登米市立登米中学校
田中 明日香さん

アカデミックインターンシップの実施

宮城県仙台向山高等学校から「アカデミックインターンシップ」の依頼がありました。これは、「大学や企業等でどのような研究、取り組みをしているかを知り、大学やさらに卒業後の社会生活へ円滑な移行を可能とする能力を育成する」「大学で学ぶことの意義を見つけ、学びに対する興味・関心をより強いものとし、進路決定の主体的な考え方や態度を身に付けさせる」ことを目的に、生徒が興味・関心のあるテーマについて、大学教授や企業の担当者らと実際に触れ合う機会を提供するものです。

実施日には、2年生7名が仙台南年金事務所を訪れ、年金セミナーの受講やフリートーク形式での意見交換を行いました。参加した生徒からは、将来の保険料の負担増や給付金額の減少への懸念等、さまざまな質問や意見が出されました。また、今回学んだことを将来につなげていきたい等の感想もいただきました。



アカデミックインターンシップの様子

3 年金セミナー事業

(1) 事業の取組状況

年金セミナーの実施状況

年度初めに県代表年金事務所が県教育庁や市教育局、高等学校長協会を訪問し、開催の要請を行いました。その後、地域年金推進員や各年金事務所より管内各教育機関に対し、年金セミナーの開催について協力要請を行いました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、従来の対面型での実施に加えて様々な方法を取り入れ、コロナ禍における教育機関等の要望に応えながら取り組んでいます。

- ・ 教育機関等のテレビ会議システムを活用した非対面型(オンライン)年金セミナーの実施
- ・ 日本年金機構本部が作成した「年金セミナー用動画」(DVD)を送付し映像による年金セミナーの実施

○各年金事務所別実施状況

年金セミナー 実施状況	令和元年度 実施校数	令和元年度 実施回数	令和2年度 実施校数 (R2.12.31現在)	令和2年度 実施回数 (R2.12.31現在)	参 考 (R3.1月～R3.3月の 実施確定校数)	参 考 (R3.1月～R3.3月の 実施確定回数)
仙台東	12校	30回	4校	9回	3校	7回
仙台北	14校	17回	9校	10回	2校	2回
仙台南	9校	13回	2校	4回	3校	7回
石 巻	11校	19回	5校	10回	1校	1回
古 川	11校	14回	5校	6回	2校	2回
大河原	9校	12回	2校	2回	4校	5回
計	66校	105回	27校	41回	15校	24回



聖ドミニコ学院中学校での年金セミナーの様子



宮城県石巻北高等学校での年金セミナーの様子

○教育機関別実施状況

教育機関別 実施状況	令和元年度 実施校数	令和年度 実施人数	令和2年度 実施校数 (R2.12.31現在)	令和2年度 実施人数 (R2.12.31現在)	参 考 (R3.1月～R3.3月 の実施確定校数)
大学、短大	12校	1,949名	3校	399名	1校
各種学校	13校	713名	7校	507名	4校
高等学校	40校	3,569名	15校	1,114名	10校
中学校	1校	8名	2校	5名	0校
計	66校	6,239名	27校	2,025名	15校



気仙沼市立病院附属看護専門学校での年金セミナーの様子



宮城県塩釜高等学校での年金セミナーの様子

○非対面型(オンライン)での実施件数及び「年金セミナー用動画」(DVD)送付件数

	非対面型(オンライン)		年金セミナー用動画(DVD)
年金セミナー 実施状況	令和2年度 実施校数 (R2.12.31現在)	令和2年度 実施回数 (R2.12.31現在)	令和2年度 送付校数 (R2.12.31現在)
仙台東	0校	1回	2校
仙台北	4校	4回	2校
仙台南	1校	1回	3校
石 巻	0校	0回	2校
古 川	0校	0回	3校
大河原	0校	0回	1校
計	5校	6回	13校



国際高等学院でのオンラインでの年金セミナーの様子



東京IT会計専門学校・東京法律専門学校でのオンラインでの年金セミナーの様子

関係団体との共同開催

今年度も昨年度同様、全国健康保険協会宮城支部及び宮城県社会保険労務士会、仙台国税局との共同開催を実施しました。

○各関係団体との共同開催状況

教育機関別 実施状況	令和元年度 実施校数	令和元年度 対象人数	令和2年度 実施校数 (R2.12.31現在)	令和2年度 対象人数 (R2.12.31現在)	参 考 (R3.1月～R3.3月の 実施確定校数)
仙台国税局	8校	404名	1校	62名	2校
全国健康保険 協会宮城支部	4校	341名	1校	90名	0校
宮城県社会 保険社労士会	1校	138名	5校	315名	0校
計	13校	883名	7校	467名	2校



仙台白百合女子大学で共同開催した
仙台国税局による「租税教室」の様子

・各関係団体との共同開催の様子



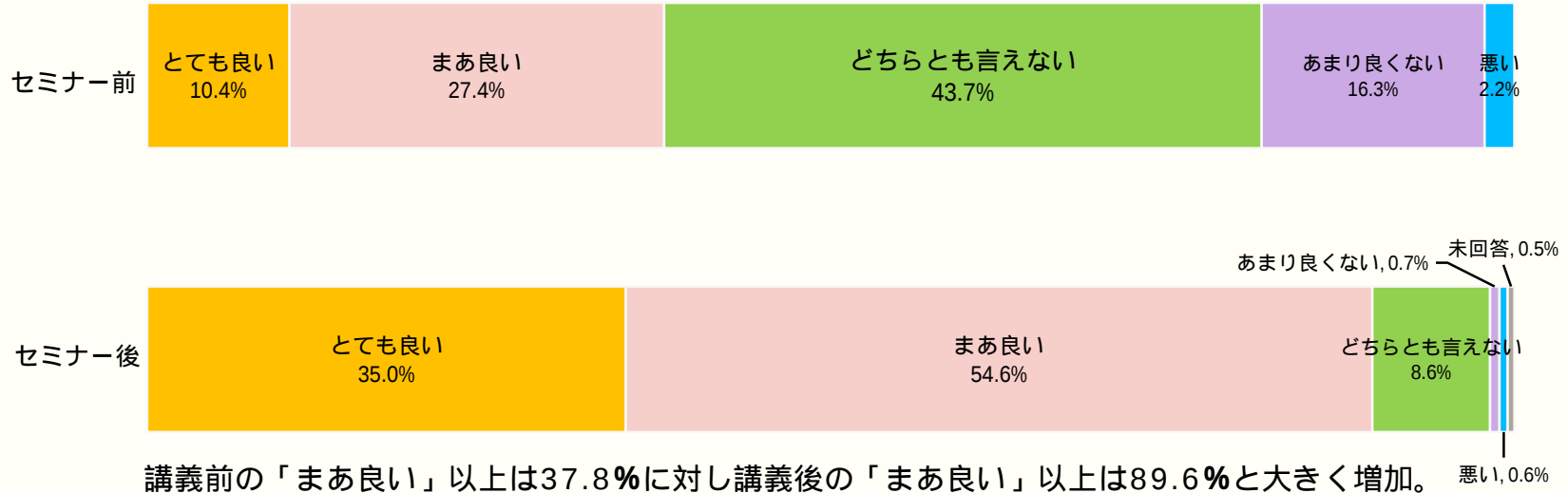
全国健康保険協会宮城支部のオンラインシステムを使用した共同開催の様子
(東北工業大学の生徒に対して実施)



宮城県社会保険労務士会の出前講義と年金セミナーの共同開催の様子
(ヒューマンキャンパス高等学校)

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ~「年金」に対するイメージ~

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校・中学校) R2.12.31現在



< 主なご感想 >

- ・高校でも同じく外部の方が来校してくださり、講義をしてくださいました。私はその時に詳しく聞いていたので元々年金の仕組みは理解していましたが、知らない人にとってはとても重要な知識が身についたと思います。(専門学校生)
- ・今は年金を受け取っている人が約3900万人いることに驚きました。将来、私達はもらえないと言われていています。それなのに約2万円を払い続けなければいけないのかと思うと、不安しかありません。(大学生)
- ・あまり年金のことを聞いたことがなかったけど今回で色々なことを理解できたので良かったです。(中学生)
- ・セミナーを受けるまでは国民の義務だから納めなければいけないと思っていましたが、自分の老後生活を支えるため、そして今の年金受給者を支えるために年金は必要だということが分かりました。世代と世代の支え合いのために年金を納めていこうと思いました。(専門学校生)
- ・年金の未払いなどのミスが多いイメージがある。(高校生)
- ・よく「年金」という言葉を聞くので、どんなものなのだろう?と気になっていました。今日、年金について詳しく知れて良かったです!とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。(高校生)

地域年金推進員の活動

地域年金推進員は、各教育機関に対して新型コロナウイルス感染症の影響による授業の実施状況等を確認しながら、年金セミナー開催に向けたアプローチを年度当初より実施してきました。

その結果、年金セミナーを計画及び実施いただいている教育機関数は昨年度と比較して減少しているものの、各教育機関の要望に沿った内容を提案するなど、実施回数の増加に向けた取り組みを行っています。

(地域年金推進員とは)

次代を担う若い世代(生徒)に対して公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や生徒へ伝える能力がある者を「地域年金推進員」として委嘱しています。

4 地域相談事業

(1) 事業の取組状況

出張年金給付相談

新型コロナウイルス感染症の影響等を受け、実施ができない状況でしたが、石巻年金事務所においては、下記市町村での出張年金給付相談を実施しました。

○出張年金給付相談実施状況

出張年金給付 相談実施状況	実施場所	令和元年度 実施回数	令和元年度 対象人数	令和2年度 実施回数 (R2.12.31現在)	令和2年度 対象人数 (R2.12.31現在)	備 考
石 巻	気仙沼市	240回	4,507名	183回	2,613名	毎日開催
石 巻	南三陸町	6回	29名	4回	14名	隔月開催
計		246回	4,536名	187回	2,627名	

気仙沼市での出張相談については、通年で場所を借用して年金相談を実施しております。

5 年金委員活動支援事業

(1) 事業の取組状況

年金委員への活動支援の取組

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、職域型年金委員の方への制度説明会や研修会、地域型年金委員の方への年金委員連絡会の開催が難しい状況となりました。

その中でも、職域型年金委員に対して、集まる機会を利用して研修会を実施し、厚生年金保険料等の納付猶予特例及び国民年金臨時特例免除等の説明やGビズID等を活用した電子申請利用の勧奨を行いました。

また、「ねんきん月間・年金の日」のポスターやリーフレットを配付し、周知や広報の依頼をしました。

地域型年金委員に対しては、広報誌「支えあい」の送付や第2回宮城県年金ポスターコンクールのチラシ及び「ねんきん月間・年金の日」のリーフレットを送付し、周知や広報の依頼を行いました。

日本年金機構本部からの情報提供

日本年金機構本部から職域型及び地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として6月と11月に資料等を送付し情報提供を行いました。

全国年金委員研修の開催

例年、東京で開催されていましたが、新型コロナウイルスの影響により、今年度は日本年金機構のテレビ会議システムを使用して管轄する年金事務所にお越しいただき開催しました。

研修終了後には、参加いただいた年金委員の方々と意見交換を行い、今後の年金委員活動についてのご意見等をいただきました。

また、一部の職域型年金委員の方には、モデル実施としてWeb会議ツールを活用し、職場等から研修に参加いただきました。



仙台東年金事務所での全国年金委員研修の様子

年金委員等表彰の実施

多年にわたり年金事業の発展及び推進に貢献された年金委員の方々を対象とした、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。同伝達式は、宮城県社会保険委員会連合会及び全国健康保険協会宮城支部との共催により開催しました。

なお、今年度は年金事務所長感謝状の会場での贈呈を見合わせ、後日受賞者の意向を伺い、郵送または事業所への直接持参による贈呈とさせていただきます。

開 催 日 令和2年11月20日

開催場所 ホテルメルパルク仙台

表彰対象 厚生労働大臣表彰 1名

日本年金機構理事長表彰 6名

日本年金機構理事表彰 16名

年金事務所長感謝状 26名



厚生労働大臣表彰授与の様子



事業所へ訪問し、年金事務所長感謝状を贈呈

年金委員の委嘱拡大に向けた取組

全国健康保険協会宮城支部より、健康保険委員の新規委嘱を受けた方のうち、日本年金機構への個人情報提供に同意をいただいた方に対して年金委員の委嘱勧奨を実施しました。

また、加入者10人以上の事業所を対象とした新規委嘱の勧奨や加入者300人以上で、すでに1名の年金委員が設置している事業所に対して追加の勧奨を行うなど、年金委員の委嘱拡大に向け取り組みました。

○年金委員委嘱者数

年金 委員数	職域型年金委員数			地域型年金委員数		
	令和1.3.31 現在	令和2.3.31 現在	令和2.12.31 現在	令和1.3.31 現在	令和2.3.31 現在	令和2.12.31 現在
仙台東	415名	430名	472名	21名	22名	23名
仙台北	537名	531名	533名	32名	26名	27名
仙台南	438名	429名	424名	20名	18名	19名
石 巻	504名	508名	506名	21名	20名	21名
古 川	526名	543名	547名	17名	18名	18名
大河原	285名	283名	290名	7名	8名	8名
計	2,705名	2,724名	2,772名	118名	112名	116名

6 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

本年度においても、11月を「ねんきん月間」と位置づけ、11月30日(いいみらい)の「年金の日」と併せて、公的年金制度の普及・啓蒙の取り組みを実施しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの取り組みが出来ない状況ではありましたが、第2回宮城県年金ポスターコンクールの授賞式・作品展をはじめ、年金セミナーの実施や生活保護担当の市町村職員を対象とした年金制度説明会、職域型・地域型年金委員への情報提供、年金委員の委嘱拡大等を行いました。



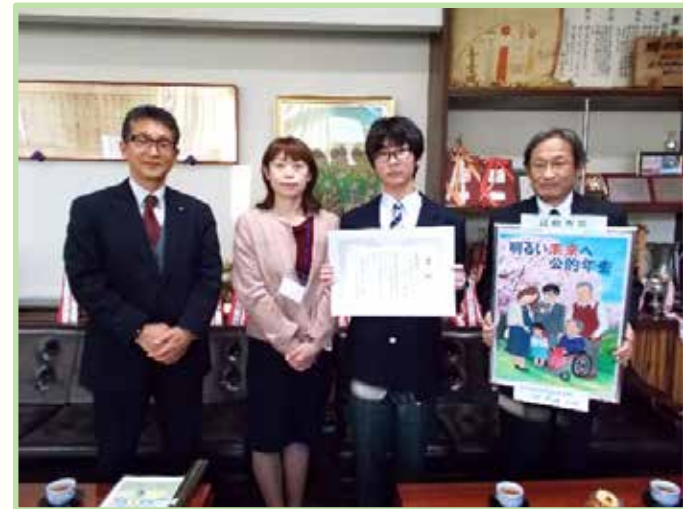
「年金の日」のチラシ

第2回宮城県年金ポスターコンクール授賞式の開催

昨年度に引き続き、受賞した中学校を訪問して授賞式を開催しました。今年度は、新型コロナウイルスの影響もあり、開催の承諾を得られた中学校での実施となり、管轄の年金事務所長から賞状をお渡ししました。



仙台市立中田中学校での最優秀賞授賞式の様子
受賞した丹羽景柊さん(左)及び
石川仙台南年金事務所長(右)



左から、高倉校長先生、丹羽景柊さんのお母様、
丹羽景柊さん、石川仙台南年金事務所長

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

・各中学校での授賞式の様子

写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。



宮城県古川黎明中学校での授賞式の様子
前列左から、阿部理佳子さん、松本華澄さん、
菅原菜さん、浅野日向子さん、
後列左から、佐藤副校長先生、
厚生労働省東北厚生局品田総務管理官、
佐々木古川年金事務所長



東松島市立矢本第一中学校での授賞式の様子
左から、佐藤石巻年金事務所長、菊池妃珠さん、
大野先生、安倍校長先生



学校法人仙台育英学園
秀光中等教育学校での授賞式の様子
左から、石井仙台東年金事務所長、鈴木新也さん

・ 中学校及び東北厚生局のホームページでの掲載

最優秀賞を受賞した仙台市立中田中学校のホームページに授賞式の様子を掲載していただきました。

また、厚生労働省東北厚生局のホームページにおいても、ポスターコンクール作品展の様子や授賞式の様子を掲載していただきました。

第2回宮城県年金ポスターコンクール作品展の開催

今年度は、ポスターコンクールに応募いただいた全作品を展示し、宮城県民の皆様にご公的年金を身近に感じていただける機会を作り、広く公的年金制度の普及・啓蒙活動を行うことを目的として、仙台市内2か所において作品展を開催いたしました。

電力ビル1Fのアクアホールで行った作品展には、76名の方が来場され作品を鑑賞しました。



「アクアホール」での作品展示

作品展開催

○電力ビル1F「アクアホール」

令和2年11月14日(土) 12時～16時

○青葉通地下道ギャラリー

令和2年12月1日(火)～令和2年12月14日(月)



「アクアホール」作品展の様子





青葉通地下道ギャラリーでの作品展の様子